



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA - CENTENNIAL

c/o YMCA INTERNATIONAL PROGRAM CENTER
 Dojima Grand Bldg., 1-5-17
 Dojima Kita-ku Osaka 530 JAPAN
 PHONE (06)344-1717

OCTOBER 1993, No. 4
 The Service Club to the YMCA
 Chartered September 25, 1982

MOTTO (1993~1994)

- IP "IN SHARING WE HAVE FOREVER" "いつも分かち合いの心を"
 AP "THINK ASIA, THINK Y'SDOM" "考えようアジアとワイズ"
 RD "CREATE A NEW AGE" "創造しよう新時代"
 DG 『クラブライフで豊かな心を』
 CP 『新しい出発、高めようクラブライフ』

= 月間強調テーマ 『IBC YEEP』 =

= 10月の聖句 =

イエスは言われた。「起き上がりなさい。床を担いで歩きなさい。」すると、その人はすぐに良くなって、床を担いで歩きだした。

ヨハネによる福音書 5章 8-9節

エルサレムの羊の門のそばに、ベトサグという池がありました。この池の周りには、いつも病気の人、身体の不自由な人達が大量たむろしていました。それは、池の水面が動く時真先に池に入った者は病気が癒されるとの言い伝えがあったからです。そこに38年間も病気で寝たきりの人がいました。一人では起き上がることも出来ないその人は、人より早く池に入る事など不可能で、しかも彼を助けて池に入れてくれる人もなかったのです。彼は希望もなく、あきらめと絶望の中でただそこに横たわっていたに違いありません。

その人に、イエスが声をかけられたのです。「良くなりたいか?」と。その問いは、ある意味では、「あきらめ」の中に安住していた彼の心を、強くゆさぶりました。良くなることなどとっくにあきらめていた彼に、再び現実を見据え考えるという人間本来の姿に戻ることを強いたのです。そして多分それは希望へと変わっていったのでしょう。彼は、その後のイエスの力強い「起きあがりなさい、…」という命令に素直に従ったのです。

このように、イエスの語りかけは、時に人の心も身体も変えてしまうものなのです。

(杉浦真喜子撰・解説)

=== 10月第1例会 ===

日時: 1993年10月20日(水) 6:30 ~ 8:30 p.m.
 場所: 大阪YMCA国際・社会奉仕センター

司会: 杉浦真喜子君

- | | |
|-------------------------|--------------|
| 1. 開会点鐘 | 隅田 保会長 |
| 2. ワイズソング | — 同 |
| 3. 聖句朗読 | 長瀬由香子君 |
| 4. ゲスト紹介 | 隅田 保会長 |
| 5. 日々の糧及び黙禱 | — 同 |
| 6. 晩餐 | — 同 |
| 7. スピーチ | (YEPP 会員) |
| 「わたしの留学生活」 | 羅房嬉美さん |
| 8. アジア大会報告 | (777ネット事業主任) |
| | 谷川有美子/ネット |
| | & 参加者 |
| 9. お誕生日祝い | — 同 |
| 10. ニコニコ献金 | ドライバー |
| 11. 役員会・委員会報告, YMCAニュース | |
| 12. 閉会点鐘 | 隅田 保会長 |

= 10月お誕生の方 =

Happy Birthday to following people

山村メネット 9日 藤本メネット 20日
 秋月メネット 28日 湯浅充章君 31日

= 10月第2例会 =

日時: 1993年10月27日(水) 6:30~8:30 p.m.
 場所: 大阪YMCA国際・社会奉仕センター

◎10月第1例会当番: (第2班)

鈴木君, 杉浦君, 山田君, 足立君, 長瀬君
 受付・準備・後片付などをよろしく願います。



(新クラブ設立協議を語る川一姫路グローバル会長)

= 9月第1例会報告 =

三浦直之

9月第1例会は、EMC強調月間で、我々センテニアルも新クラブ設立に向けて、第一歩を踏みだしたのです。又、当日はメンバー各自が、友人一人を必ず同伴するというで、大勢のゲストが参加され賑やかな例会となりました。

先づ、当クラブのEMC委員の黒田メンより、新クラブ設立準備委員会での打ち合せの経過報告があり、新クラブの設立のスケジュール、基本的な活動方針等について説明がありました。

続いて本日のメインゲストの姫路グローバルクラブ会長の山川一郎メンより、新クラブ設立の体験談をお話ししました。

――以下、お話しの要約――

1. クラブの設立に際しては、なによりもクラブの活動方針がはっきりとしていなければならない。その活動方針がクラブとしての求心力となるからである。
2. 次にメンバーを集める方法としては、① YMCA 関係 ② 教会 ③ ライオンズクラブ等 ④ 友人・知人 ⑤ メネットをメンにする、等の方法による。
3. メンバーを実際に集めるに際して最も重要なのは、説明する人の熱意や誠意に負うということ。
4. 又、クラブが長続きする為には、形式(けじめ)が大事である。

等の、大変参考となるお話しをしていただきました。山川会長のワイズに対する熱意がひしひしと伝わってくると同時に、新クラブを造るのは大変なことだと実感させられました。

さて、次に中西部会(9/26(日))での当クラブとしての出し物である寸劇(「ある留学生の日記より」)の説明が、黒田メンよりありました。ぶっつけ本番ですが、なんとか期待ができそうです。

<P.S.> 中西部会当日、我クラブの出し物は、会場の共感呼び、投票の結果、高得点を獲得し表彰されたことをご報告いたします。

= 9月第1例会に出席された

ゲスト(除 Y's Men)の方々 =

大西和夫氏	菅原たみ子氏	部木直文氏
中川晴夫氏	永井佳子氏	柘武氏
福中重三氏	藤井一郎氏	

= 9月出席状況 =

第1例会出席会員：16名	メネット：5名
	ゲスト：12名
第2例会出席会員：8名	メネット：1名
	ゲスト：1名

出席会員数：21名 (内MU：5名)
出席率：66% (前月：72%) 会員数：32名

◎ニコニコ献金：¥20,200

= 9月第2例会報告 =

1. 10月第1例会(10/20)プログラムの件：別掲通り。
2. 11月第1例会(11/17)プログラムの件：
BF, EF 強調月間。 ゲストスピーカー折衝中。
3. ボヒニアクラブ Mrs. Lai Kong-Ian, Betty and Mr. 歓迎及び接遇：アジア大会会場にて行う。
4. 中西部選出代議員選挙立候補選出の件：
12月4日中西部評議会にて選出。平田君に依頼予定。
5. センテニアル・エクステンション・プロジェクトの件：黒田君より提案のあった新クラブにつきプロジェクト委員会で前進を図る。
6. Y'sデー(11/10)の取組みについて：
Y's club の存在を外に向けてPR。同時に内に向けては、クラブ内の団結・融和を図ることを目的とする。継続審議。
7. 中西部・阪和部合同新年会：ホストは枚方・奈良 1/15/94(土)に決定。
8. スピーカーバンク設立について：94年4~5月頃実現に向けて登録への協力。まずメンバーが担当。
9. YMCA会員のつどい：(10/23(土))協力推進。
10. 大阪クラブ65周年感謝記念会：(11/3)できるだけ多くの方の出席を推進する。
11. 9月例会出席のゲスト名を別記通り掲載。会長より挨拶状を出す。
12. 藤原君の広義会員正式承認を得る。
13. その他

= 今後のスケジュール =

- (1) 大阪YMCA会員のつどい：
日時：10月23日(土) 6:00~ 8:30 p.m.
会場：大阪YMCA会館2階ホール 会費：¥2,000
- (2) 大阪クラブ65周年感謝記念会
日時：11月3日(祝日) 12:00~3:00 p.m.
会場：ロイヤルホテル(山楽の間) 会費：¥12,000

◆CS ニュース◆



＝関西いのちの電話創立20周年記念バザー＝

9月18日、曇り空の中、「関西いのちの電話」創立20周年記念バザーが、十三の博愛社で行われ、我がセンテニアルクラブからはCS事業の一環としてバザーの手伝いにメン、メネットが参加しました。寄贈品、抽選券やたこやきの販売、そして食堂、商品の売上協力と大活躍、いのちの電話からも感謝の言葉があり、当日の純益が約90万円との報告を受けました。今後も側面からの援助をして行く予定をしております。

(CS 津田葉清政)

＝BF 9月分報告＝

	[9月分]	[累計]
切手 Pts	2,240 Pts	6,970 Pts
現金 Pts	880 Pts	2,725 Pts

〔切手提供者〕

1. 津田葉君 2. 山田君 3. 黒田君 4. 杉浦君
5. 鈴木君 6. 足立 7. 隅田君 8. 秋月君
9. 森メネット 10. 掛江君 10. 佐藤君 10. 柴田君
10. 田中君 10. 長瀬君 10. 平田君 10. 福永君

(以上16名 Pts順)

今月も沢山の切手と現金Ptsをご提供いただきました。ありがとうございます。

外国切手(100gr.=400Pts)の提供も増えておりますが、未だ個人の集計に入っておりません。今年度最終月(6月)にまとめて、集計させていただきます。

(BF 足立利枝)

☺ニコニコ・メッセージより☺

○Extensionのお話を聞き、入会して4年目を迎えた今、“ああ私は何をして来たのかと、吹きくる風に……”と反省いたしております。プロジェクト委員の方々よろしく願いいたします。・・・足立利枝

○先月の例会報告を書いたせいか「関西いのちの電話」バザーの抽選に当たりました。感謝！ 皆さん進んで例会報告を書きましょう。・・・掛江康一

○山川会長のさりげない話の中にご苦労がしのばれました。メンバー全員の協力で是非新クラブ誕生を実現させたいものです。・・・栗山佳三

○山川さん、大変刺激になるよいお話ありがとうございました。また新しく来会された皆様心より歓迎いたします。・・・黒田蔵之

○山川姫路グローバル会長のご講話には大変に参考になり、またメンバーとしての心構えも再認識させられるお話しの内容でした。心から感謝いたします。・・・河野靖一

○久方ぶりの司会やらせて頂き、ご迷惑かけました。本日は多数のゲストの方おこし頂き感謝。・・・柴田 健

○友人を誰もつれて来ることが出来なくてすみません。山田が出席出来なくてすみません。(すみません×2)。山川さんのお話をうかがって、ちょっとやる気が出て来たいですね！・・・杉浦真喜子

○姫路グローバルの山川一郎兄のクラブ作り苦心談がわがクラブのEのためほんとに有益だったことを感謝する。・・・鈴木謙介・美藤

○EMCの月、Eの実現に向けて頑張ろう。山川様貴重なお話ありがとうございました。・・・隅田 保

○EMC皆さんでがんばりましょう。山川会長、おもしろく話し下さってありがとうございました。・・・隅田恵子

○姫路グローバルワイズメンズクラブ設立経過について興味深いお話しを伺い有難うございました。・・・田中穰二

○山川さんありがとうございました。センテニアルも女性会員を多くして早くチャーターしましょう。ゲストで出席して下さった皆さん今後もぜひどうぞ。・・・津田葉清政

○今月の例会をすべり込みでクリアーしました。・・・長瀬由香子

○好きな季節がやって来ました。クラブにスポーツに張り切って参りましょう。・・・平田由喜子

○山川さんのお話大変参考になりました。・・・三浦直之

○新クラブ設立の貴重で楽しいお話し有りありがとうございました。沢山のゲストの皆様とても有意義な例会でした。・・・森 晴美

○新クラブ設立のお話大変参考になりました。山川会長に感謝。・・・山村幸明

○山川会長の親しみを覚えるお話ぶりに何か御苦労を克服された喜びを伺い、教えられるところが多々あり、感謝です。友人2人共来て頂き有難いことです。・・・福永嘉彦



◎ ネット 報告 ◎

森 晴美

七夕に平和の願いを折鶴にとセンチナル・メネットさん達一人一人の気持が大きな輪となり、私達も初めて参加させて頂きました。

仙台青葉城ワイズの金原道子さんからお礼状が届きました。

メネットの皆様ご協力ありがとうございました。

♡

1993年8月

「平和を祈る七夕」市民のつどい

平和七夕ご協力のお礼

拝啓 記録的な長雨で、各地に大きな被害が発生しており、心傷む昨今ですが、皆様におかれましてはご健勝にお過ごしのこととお察し申し上げます。

さて、過日の平和七夕に際しましては、鶴折り、飾り付け、そしてカンパなどの参加・協力をいただきまして心から感謝申し上げます。

18年前、数名の方々と2000羽の鶴を折ることから始めた平和七夕でしたが、今年は、最年長の100歳の方をはじめとして、1万人以上の方々の参加がありました。また、折り鶴の送られて来る地域は、西は永い間広島どまりでしたが、今年は一気に北九州市まで広がるなど、念願であった100万羽を突破してお寄せいただきました。それを、例年通り仙台七夕のメイン・ストリートである中央3丁目に、15万羽の折り鶴を5本の吹

流しにして飾り、残り85万羽は15000本のレイ(首飾り)にして七夕見物の方々に配り、「ノーモア・ヒロシマ」「核兵器の廃絶」「平和」を訴え、大きな反響を得ることができました。

今年はまた、北海道ユネスコ協会を協力しあいながら12600羽の折り鶴を10年間送り続けて下さっている北海道泊村立堀株(ホリカップ)小学校の全児童13名と校長先生はじめ5名の先生が、村民のカンパで、8月8日、自分達の折った鶴がどのように飾られているかを一目見ようと米仙して下さったり、また、高崎、前橋のワイズメンズクラブ、メネット会の方々がレイ配りに参加されるなど、県外の方々と直接触れ合うことができました。

それに、一度、10年前に高校生として参加した方が再び子供さんと一緒に参加されるなど嬉しい出来事の沢山あった年でした。それと同時に、18年間続けてきたことの重さを実感させられた年でもありました。

48年間たった今なお、原爆症で苦しんでいる人達のことを思うと心が痛みます。一日も早く悪魔の核兵器が廃絶されることを願いながら、この運動の輪を一層大きく広げていきたいと思っておりますので、今後とも皆様のお力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

仙台青葉城ワイズ

金原道子

〔個人消息〕

谷川 寛君： 神戸ワイズー9月例会にて“アメリカワイズの衰退”と題して話をされました。

◇◇ クラブ・ソング ◇◇

Once more we stand, new zeal our hearts imbuing;
We raise our hand, Our service pledge renewing,
Ne'er to deny our motto's claim,
Y's Men in fact as well as name,
Always our objects to pursue,
We consecrate ourselves anew.

うたえば ころろひとつに
ともがき ひろがりゆきて
とおきも ちかきもみな
ささげて 立つやワイズメン
さかえと ほまれゆたか
まことは 胸にあふれん

〔編集後記〕 いよいよ爽やかな秋の好季節、EMCの成功を期待しながら希望に燃えた前進を…(福永)

06-301-4997

SEPTEMBER 1993

BROTHER CLUB AND OTHER Y'S MEN'S NEWS

by Larry Hiranaka

In a telephone call from Osaka, DR. TADAYUKI NAKAMURA expressed his family's gratitude to all of the Nuuanu members for helping to make their visit to Hawaii such a memorable one. Kei and Mai were very sad to have to go back home and would one day like to visit Hawaii again.

Special summer greetings were sent by KENSUKE SUZUKI and KAN TANIKAWA from our Brother Club, the Osaka Centennial Y's Men's Club. They just had a Special Summer Night at the Panorama Hall near the Osaka Castle in mid-August and at the event Dr. Nakamura shared a report and pictures of his family's visit. They expressed their appreciation for all that the Nuuanu members did for the Nakamuras. They are looking forward to the Asian Area Convention that will be held in Kobe, Japan in October when they hope to renew acquaintances with some members of the Bauhinia Club of Hong Kong.

AL JONGEWAARD, someone that all of the Hawaiian Region Y's Men love and treat like an honorary member of our region, writes that he is on the road to recovery after his fall in Monterey. Al broke his hip while attending the US Area Convention and spent some time in the hospital. He is back in Missouri and you can write him at P. O. Box 1662, Blue Springs, Missouri, 64013. I'm sure that he would love to hear from his friends in Hawaii.

President MAMORU YAMANO, of the Hiroshima Y's Men's Club, who was here to sign Brother Club affiliations with the West Oahu Club, sends his appreciation to Nuuanu members who were present at the official ceremony. He emphasizes that he was deeply impressed with the witnesses of different racial background which made the event very "international".

Another very "international" event was the 30th anniversary celebration of the Kaimuki Y's Men's Club. A delegation of twelve from the Gardena Y's Men's Club and almost fifty from several Y's Men's Clubs in the Tokyo-Yokohama area helped to make this 5-day event a very memorable one for all. At the banquet celebrating the anniversary, Mr. HARUOKI TAKASUGI, from the Yokohama Y's Men's Club, presented a beautiful purple and gold carp to President NAOMI AIMOTO. He expressed that he wanted to have the Club and the Nuuanu YMCA use the carp to signify a long lasting friendship. Mr. TAKEO OHARA presented some specially made baseball caps that will be distributed to members at the next meeting. Mr. and Mrs. ISABURO TSUYUZAKI from the Tokyo Y's Men's Club also left omiyage which will be presented at the next meeting. Mr. KYONOSUKE SUGIMOTO is a Yokohama Y's Man now, but was a member of the Osaka Centennial Club when he lived in Osaka.